

令和8年第3回守山市教育委員会定例会

1	教育長業務報告	2
2	報告事項	
	令和8年守山市議会3月定例会教育委員会関係質疑質問の概要について	3
3	その他事項	
(1)	守山市男女共同参画審議会委員の推薦について	27
(2)	寄付採納一覧について	28
(3)	教育委員会関係行事等について	30
(4)	教育委員会の日程等について	37

## 令和8年2月・3月 業務報告

令和8年3月26日現在

月	日	曜	主 な 内 容
2	20	金	令和8年守山市議会3月定例会会議（開会）
2	25	水	令和7年度第2回社会教育委員会議・公民館運営審議会 令和8年第1回守山市教育委員会臨時会
2	26	木	表敬訪問（中学硬式野球チーム [守山リトルシニア]） 守山市環境コンクール表彰授与式
2	28	土	2025年度下之郷遺跡キッズクラブ「Go kids」活動報告会、赤野井町の歴史探訪講座
3	1	日	第25回国際交流の広場、もりやま青年団20周年記念パーティー
3	4	水	東京五輪メダリストの守山市柔道連盟激励訪問（全日本柔道連盟）
3	5	木	令和8年守山市議会3月定例会会議（再開）
3	6	金	令和7年度守山市立明富中学校卒業証書授与式
3	7	土	ルシオールジュニアバンド ファーストコンサート
3	8	日	一休フォーラム in もりやま
3	9	月	令和8年守山市議会3月定例会会議（再開）
3	10	火	令和8年守山市議会3月定例会会議（再開）、表敬訪問（ピアノコンクール受賞者） 第56回MORIYAMA NEW YEAR 駅伝大会実行委員会
3	12	木	2025年度第2回立命館守山中学校・高等学校関係者評価委員会
3	13	金	令和8年守山市議会3月定例会会議：文教福祉常任委員会
3	14	土	2025年度立命館守山中学校卒業証書授与式
3	15	日	令和7年度守山市子ども会連合会後期総会
3	16	月	令和8年守山市議会3月定例会会議：文教福祉常任委員会
3	17	火	令和7年度第2回守山市文化財保存活用地域計画協議会
3	18	水	令和7年度守山市立認定こども園守山幼稚園修了証書授与式
3	19	木	令和7年度守山市立中洲小学校卒業証書授与式
3	20	金	小津イレブンフィーバーズ卒団式
3	21	土	令和7年度古高鼓踊り保存会総会
3	23	月	寄贈式（三王不動産グループ、株式会社瑛心）、寄贈式（有限会社富綜）
3	24	火	令和8年守山市議会3月定例会会議（閉会）
3	25	水	寄贈式（JAバンク）
3	26	木	令和8年第3回守山市教育委員会定例会、令和8年第3回守山市教育委員会協議会

令和8年守山市議会3月定例会月会議 質疑・質問一覧表（教育委員会分）

No.		議員名	質問事項	答弁者	担当課
1	代表-01	新野 富美夫	2. 令和8年度の取組方針のクローズアップ事業 (2)「子育て環境の充実」 ①小学生の放課後の居場所づくり事業について	市長	こども政策課 学校教育課 社会教育・文化振興課
2	代表-01	新野 富美夫	2. 令和8年度の取組方針のクローズアップ事業 (8)小中学校プールの集約化 ①防災拠点としての活用について	市長	危機管理課 教育総務課
3	代表-01	新野 富美夫	2. 令和8年度の取組方針のクローズアップ事業 (9)守山市民ホール大規模改修事業 ①駐車場問題について	市長	市民ホール整備室
4	代表-01	新野 富美夫	3. 4本柱ごとの主な施策 (1)柱1「子育てするなら守山」 ①小中学校給食における生鮮物資配送業務について	市長	保健給食課
5	代表-01	新野 富美夫	3. 4本柱ごとの主な施策 (1)柱1「子育てするなら守山」 ②教育環境整備について	市長	教育総務課
6	代表-02	小牧 一美	2. 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策 (2)子育て環境の充実について ①子育て環境の整備について	市長	こども政策課 保育幼稚園課
7	代表-02	小牧 一美	2. 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策 (2)子育て環境の充実について ②大規模校の解消について	市長	教育総務課
8	代表-02	小牧 一美	2. 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策 (2)子育て環境の充実について ④学校給食無償化について	市長	保健給食課
9	代表-02	小牧 一美	2. 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策 (2)子育て環境の充実について ⑤学校で学び合うことの意義とタブレット活用授業の検証について	市長	学校教育課
10	代表-02	小牧 一美	2. 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策 (2)子育て環境の充実について ⑥特別支援学校について	市長	学校教育課
11	代表-03	榎本 花菜恵	2. 「令和8年度の主な施策」について (1)「子育てするなら守山」について	市長	こども政策課 学校教育課 社会教育・文化振興課
12	個人-02	田中 均	2. 市内の交通安全対策について (3)小中学校での交通安全対策について	教育長	保健給食課
13	個人-03	上田 佐和	1. 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について (1)対象範囲と制度の考え方について	教育部長	保健給食課
14	個人-03	上田 佐和	1. 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について (2)物価高騰と給食費改定の考え方について	教育部長	保健給食課
15	個人-03	上田 佐和	1. 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について (3)給食停止児童生徒への対応について	教育部長	保健給食課
16	個人-03	上田 佐和	1. 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について (4)他自治体事例を踏まえた対応について	教育部長	保健給食課
17	個人-03	上田 佐和	1. 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について (5)就学援助制度との関係について	教育部長	保健給食課
18	個人-03	上田 佐和	1. 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について (6)制度持続性と給食の質について	教育部長	保健給食課
19	個人-09	筈井 昌彦	1. 公立中学校の部活動の地域展開 (1)中学校部活動の地域展開・地域連携と地域スポーツ・文化芸術環境の整備についての現状と今後の取組方針について	市長	学校教育課
20	個人-09	筈井 昌彦	2. 部活動の地域展開における課題、対応について現段階での市の考えを伺う	教育長	学校教育課

No.		議員名	質問事項	答弁者	担当課
21	個人-11	二上 勝友	2. 守山南中学校の生徒数について (1) 守山南中学校の現状について	教育長	教育総務課
22	個人-11	二上 勝友	2. 守山南中学校の生徒数について (2) 中学校の新設について	教育長	教育総務課
23	個人-11	二上 勝友	2. 守山南中学校の生徒数について (3) 学区割の見直しについて	教育長	教育総務課

代表-1(総括)	守政会 新野 富美夫 議員	市長	こども政策課 学校教育課 社会教育・文化振興課
大項目	2 令和8年度 of 取組方針のクローズアップ事業		
中項目	(2) 「子育て環境の充実」		
小項目	① 小学生の放課後の居場所づくり事業について		

次に、2点目「子育て環境の充実」の1つ目「小学生の放課後の居場所づくり事業」について、現在「守山市こどもの居場所づくりプロジェクト・チーム」を中心に、放課後児童クラブの利用ニーズが特に高い玉津小学校と中洲小学校において、令和9年度から事業を開始できるよう学校現場等との調整や実施方法の検討を進めているところです。

そうした中、他の学校での実施については、小学校ごとの児童数、教室数といった規模や学校施設を取り巻く環境も異なり、同じ手法によって市全体で実施することは様々な課題が生じることも想定されるため、まずは玉津小学校および中洲小学校において新たな放課後の居場所事業を実施し、実施状況や利用する小学生、その保護者のお声などから事業の効果等について検証した上で、その後の市全体の居場所づくりを検討したいと考えております。

代表-1(総括)	守政会 新野 富美夫 議員	市長	危機管理課 教育総務課
大項目	2. 令和8年度の取り組み方針のクローズアップ事業		
中項目	(8) 小中学校プールの集約化		
小項目	① 防災拠点としての活用について		

次に、8点目の「小中学校プールの集約化」について、

昨年6月に改訂した守山市地域防災計画では、市民運動公園一帯を自衛隊やDMAT(災害派遣医療チーム)、緊急消防援助隊、警察などの広域支援部隊の活動拠点として、また、県外からの救援物資を受け入れ保管する輸送拠点など、本市の防災中枢拠点として位置付けているところです。

現在、地域防災計画の方針を踏まえ、運動公園内に整備を予定している屋内温水プール施設についても、災害時における防災拠点の一部として活用できるよう、検討を進めているところです。

想定される具体的な活用方法として、本市に大規模災害が発生し全国から応援部隊が駆け付けるような事態に陥った場合には、衛生環境の確保策としてのシャワー室や更衣室の提供に加え、宿泊場所として多目的スペースの提供が考えられ、また、断水時にはプールに貯められた水の生活用水としての活用も考えられます。

今後、引き続きプール整備に係る実施設計を進める中、小中学生の授業や部活動、市民の健康づくりや交流の場、さらには安全・安心の防災拠点の一施設となるよう、整備に向けて取り組んでまいります。

代表 -1(総括)	守政会 新野 富美夫 議員	市長	市民ホール整備室
大項目	2 令和8年度の取組方針のクローズアップ事業		
中項目	(9) 守山市民ホール大規模改修事業		
小項目	① 駐車場問題について		

次に9点目「守山市民ホール大規模改修事業」について、

市民ホール周辺の駐車場不足への懸念については、議員ご指摘のとおり、市民運動公園内の屋内温水プール新設やほたるの森資料館の建て替えにより、今後、来訪者の増加が見込まれることから、駐車場の確保は重要であると考えています。

現在、市民ホールおよび市民運動公園の駐車場は約970台と近隣の同種の施設と比べても多くの台数を確保しており、駐車場が混雑するのは主に大規模なイベントが重なった場合であり、通常時の利用につきましては十分に余裕がある状況です。

市民ホールの大規模改修後、日常的な来館者数は増加が見込まれますが、大ホール、小ホールの座席数は変わらないことから、イベント時の来館者数につきましては、改修前と大きく変わらないものと見込んでいます。そのため、大規模イベントが重ならない限り、駐車場のキャパシティについては、現状の運用で対応できるものと考えています。

また、近隣のハズイタウンが開業した際にも、駐車場不足を懸念しましたが、幸いにもハズイタウンのご理解とご協力をいただきながら、大きな混乱はありませんでした。

現在では、市民交流ゾーンを含むエリア全体で毎月のイベント予定を共有しており、必要に応じてハズイタウンの駐車場も利用させていただくなど柔軟に調整を行っているところです。

以上のことから、まずは、大規模改修後も大規模イベントが重なることがないように調整を行うとともに、周辺施設との事前調整を密に行いながら、駐車場の効果的な運用を図り、市民の皆様が安心して施設をご利用いただけますよう、適切に対応するとともに、やむを得ず大規模イベントが重なってしまうときには、市民ホール周辺にある土地開発公社所有の土地の活用も検討してまいります。

代表-01(総括)	守政会 新野 富美夫 議員	市長	保健給食課
大項目	3. 4本柱ごとの主な施策		
中項目	(1) 柱1「子育てするなら守山」		
小項目	① 小中学校給食における生鮮物資配送業務について		

次に、3項目目「4本柱ごとの主な施策」の1点目「柱1「子育てするなら守山」について順次お答えします。

1つ目、小中学校給食における生鮮物資配送業務について、本市の学校給食は、各学校で調理を行う「自校方式」により、作りたてで温かく、アレルギー対応等、きめ細やかな対応が実現できております。

しかしながら、特に生鮮物資については、下処理の関係上、早朝に全13小中学校に納品していただくため、センター方式と比べて、配送負担が極めて重いという課題がありました。

近年の物価高騰や人手不足の影響を受け、従来の配送体制では採算が合わず、生鮮業者が入札を辞退され、参入業者の確保ができなくなる事態も想定される状況となり、実際のところ、競争原理が働かないために、納品単価が高止まり状態となっておりました。

このような事態を解決すべく、生鮮物資の納品箇所を4中学校へ集約することで新規業者に参入していただき、価格および供給の安定化を図るものです。

また、配送に関しては、各小学校分は複数の冷蔵車両で同時に配送することで鮮度を確保し、数量等の情報を生鮮業者および配送業者と事前に共有しておくことで、トラブルの未然防止に努めてまいります。

配送コストとして新たな経費は発生いたしますが、新規業者の参入による価格競争により、配送委託料と同程度の生鮮物資単価の価格抑制が見込めるとともに、安定供給に繋がると考えています。

本市において、学校給食を安定的に実施していくためには、持続可能な供給体制を構築することが最も重要になります。

そのため、配送効率化による業者負担の軽減を図り、入札参加業者を確保することで、生鮮物資の価格および供給の安定化に努めてまいります。

代表 -1(総括)	守政会 新野 富美夫 議員	市長	教育総務課
大項目	3.4本柱ごとの主な施策		
中項目	(1)柱1「子育てするなら守山」		
小項目	② 教育環境整備について		

次に、2つ目「教育環境整備について」は、公共施設整備計画に基づき、建築から概ね20年ごとに、長寿命化改修工事等を実施しながら、最長80年の施設利用を目標に取り組んでおり、その学校施設の大規模改修時においては、児童・生徒の学習環境の改善は元より、職場環境としても校長室や職員室、給食棟など、学校施設全体としての環境改善に取り組んでいるところです。

例えば、守山南中学校において大規模改修を行った際には、職員室の拡大や第2職員室を設けた他、職員用更衣室の増設やトイレの改修を行いました。

このように、学校関係者の職場環境につきましても、大規模改修等に併せて、学校の意見を取り入れながら、各部屋の面積や配置の変更、必要な備品の導入にも対応してきたところであり、今後におきましても、引き続き職場環境の改善に取り組んでまいります。

代表－2（総括）	日本共産党議員団 小牧一美 議員	市長	こども政策課 保育幼稚園課
大項目	2 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策		
中項目	(2) 子育て環境の充実について		
小項目	① 子育て環境の整備について		

次に2点目「子育て環境の充実について」の1つ目「子育て環境の整備」について、  
 保育施設の整備については、本市では、市域全域を1区域とするなか、令和6年度に  
 策定した『守山市子ども・若者応援プラン2025』における人口推計では、0歳児は概ね  
 650人程度で推移するとしており、令和8年4月の認可保育園守山こども芸術大学開設  
 をもって、受け皿は確保できる見込みであることから、現時点で新たな整備は計画して  
 おりませんが、今後も人口の動向や保育ニーズについて注視してまいります。

今後については、大規模園において、保育士が確保できず定員数まで子どもの受け入  
 れができていないことにより待機児童が発生しているため、引き続き保育士確保および  
 定着化に向けた施策を進めることが、ひいては地域の園に通いたい子どもを含め、入所  
 申込時の希望順位が高い園に就園しやすい環境に繋がるものと考えておりますので、ま  
 ずは、プランで見込んでいる令和9年度の待機児童数0人を目指してまいります。

代表 -2(総括)	日本共産党議員団 小牧 一 美 議員	市長	教育総務課
大項目	2. 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策		
中項目	(2)子育て環境の充実について		
小項目	②大規模校の解消について		

次に2つ目の大規模校の解消について、これまでから答弁しているとおり、大規模校の分離・新設については、平成27年7月に学校規模適正化検討会を設置し、平成28年12月議会にて分離・新設は困難であるとの考え方を説明したのち、市議会でも十分ご議論をいただく中、平成29年3月議会にて分離・新設はしないとの結論を出し、守山南中学校においては、円滑な学校運営のため、校舎の増改築等を行いました。

現在の小中学校の児童生徒数は、全体的に減少傾向にあり、とりわけ大規模校の児童生徒数の推移については、守山小学校では平成29年度、河西小学校は令和3年度をピークに減少し、守山南中学校は令和5年度にピークを迎え、それ以降は減少が続いています。今後も児童生徒数については、減少傾向であると予測していることから、分離・新設の再検討は考えておりません。

1,000人以上の大規模校には、大規模校加配教員として非常勤の教員を市独自に配置することにより、教職員の授業時数を軽減し、生み出された時間で教員同士での情報共有を行う時間の確保につなげ、学校が抱える課題解決や学力向上に向けた取り組みの充実を図っています。

また、学校施設について、守山南中学校では、生徒数がピークを迎えることを見据え、令和2年度には、校舎の増改築時に、第二体育館や約400人収容の多目的ホールを整備することで、3学年が同時に学年集会を行うことができ、体育の授業や部活動等が滞りなく行えるようになっていきます。今後、さらに学校行事等で市の施設を活用するなど、充実した学校行事の実施についても、支援してまいります。

代表-02(総括)	日本共産党議員団 小牧 一美 議員	市長	保健給食課
大項目	2 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策		
中項目	(2) 子育て環境の充実について		
小項目	④学校給食無償化について		

次に、4つ目の学校給食費の無償化について、来年度から国による「学校給食費の抜本的な負担軽減」が実施されることとなり、小学校給食に係る食材費として一人あたり基準額5,200円が公費負担されることとなります。

本市においては、この制度に基づき小学校給食費の負担軽減を図り、超過分については、国の物価高騰対応交付金を活用することで、来年度は保護者負担を求めず、実質無償とする予定です。

ただし、中学校給食費は本制度の対象外であるため、来年度についても国の物価高騰対応交付金を活用することで、今年度同様、改定前の月額4,900円に据え置き、保護者負担の軽減に努めてまいります。

以前にも答弁させていただいておりますが、学校給食については、自治体間格差が生じることは好ましくないため、国や広域自治体である県において一律に行うべき施策であると認識しており、市独自の中学校給食費の無償化は考えておりません。

代表-2 (総括)	日本共産党議員団 小牧 一美 議員	市長	学校教育課
大項目	2 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策		
中項目	(2) 子育て環境の充実について		
小項目	⑤学校で学びあうことの意義とタブレット活用授業の検証について		

次に、5つ目の「学校で学びあうことの意義とタブレットを活用した授業の検証」について、情報化が進展する現代社会において、ICTを学習ツールとして活用することは、必要であり大変有用なことと考えております。特に、子ども一人ひとりに応じた個別最適な学びを実現する点で、非常に有効であると捉えております。

さらに、学校教育における一人一台端末の活用は、多様な考えに触れながら協働的な学びを進めるうえでも、学校教育の本質を損なうものではなく、むしろ学びを豊かにする有効な手立ての一つであると認識しております。しかしながら、ICTの利活用にあたっては「何のために活用するのか」という目的を明確にすることが重要であり、教育のねらいを踏まえたうえで活用することが大切だと考えております。

代表-2(総括)	日本共産党議員団 小牧 一美 議員	市長	学校教育課
大項目	2 9つのクローズアップ事業と4つの主な施策		
中項目	(2) 子育て環境の充実について		
小項目	⑥ 特別支援学校について		

次に、6つ目の「特別支援学校について」、県教育委員会では、令和6年3月に策定された滋賀県立特別支援学校教育環境整備方針に基づき、金森町地先において新たな特別支援学校の整備を進めています。これまで、本市としては、新校設置に向けた地域との橋渡し等に係る協力を進めており、すでに地元説明会も実施され、地域の皆さまのご理解とご協力をいただきながら開校へと向かっているところです。

近年、県立野洲養護学校や県立草津養護学校の児童生徒数が増加していることを背景に、新設校の整備が進められているものであり、本市としましても、県と緊密に連携し、引き続き円滑な開校にむけて協力を行ってまいります。

代表-3 (総括)	ネットワーク未来 榎本 花菜恵 議員	市長	こども政策課 学校教育課 社会教育・文化振興課
大項目	2 「令和8年度の主な施策」について		
中項目	(1) 「子育てするなら守山」について		
小項目	—		

それでは2項目目の「令和8年度の主な施策」についての1点目、「子育てするなら守山」について、

小学生の放課後の居場所づくり事業は、安全・安心で、子どもたちにとって親しみのある学校施設を居場所として提供し、地域と学校の連携・協働による学習や体験、交流活動を主な目的とした「放課後子ども教室」の要素を含みつつ、大人の見守りがある中で、児童が過ごし方を選び自主的に活動する、という事業であり、令和9年度から玉津小学校と中洲小学校での実施に向け、検討を重ねているところです。

事業実施においては、議員仰せのとおり、人材確保、学校施設の利用方法、安全管理体制など様々な課題がございます。

こうした中、人材確保につきましては、業務委託による事業運営を検討しており、専門性を持った事業者のノウハウを活用し、安定的かつ継続的な運営を目指してまいります。さらには、地域学校協働活動事業「子ども応援団」等と連携を図りながら、地域の方々にもご協力いただき、多様な体験プログラムを提供することで、子どもたちが豊かな放課後の時間を過ごせる環境を整えてまいります。

また、部局横断的な連携につきましては、今年度より教育委員会事務局、学校およびこども家庭部によるプロジェクトチームを立ち上げ、学校施設の利用方法、安全管理体制、既存の放課後児童クラブとの役割分担、地域学校協働活動等との連携など、様々な課題について協議を積み重ねてきました。

このような体制の下、今後、詳細な運用について検討していく予定であり、より一層の連携を強化し、丁寧な合意形成を図りながら、新たな小学生の放課後の居場所事業を実施したいと考えております。

個人-02(一問一答)	公明党 田中 均 議員	教育長	保健給食課
大項目	2 市内の交通安全対策について		
中項目	(3) 小中学校での交通安全対策について		
小項目	ー		

次に、3点目の小中学校での交通安全対策について、2つご質問いただいておりますので、順次お答えします。

#### (① 小中学校の交通安全教室の開催状況について)

それでは、まず1つ目の小中学校の交通安全教室の開催状況について、小学校1年生は、登下校などで自分で公道を歩く機会が増えることから、交通ルールの基礎を早期に身につけることが重要と考え、警察署などと連携し、登下校時の安全確保や横断歩道の正しい渡り方などについて学習できる機会を設けております。また、学んだ内容を学校周辺の道路で実技により確認し、日常生活に活かせる機会なども実施しております。

また、中学校においても、警察署と連携し、自転車通学を始めた中学1年生を対象に、通学時における自転車安全利用五則や事故の映像、実演を交えた危険回避の方法などについて学習するとともに、交通事故発生時の対応についても指導を行い、生徒の安全意識の向上に取り組んでおります。

このように、児童生徒の生活環境が大きく変わる節目においては、交通安全の指導が必要不可欠であると認識しており、教育委員会としましても今後とも適切な指導が行われるよう努めてまいります。

(② 小中学校全学年で「自転車等の交通安全の確保に向けた更なる取組の徹底」に係る学習の取組について)

次に、2つ目の小中学校全学年での「自転車等の交通安全の確保に向けた更なる取組の徹底」に関する学習内容について、文部科学省作成の教材を活用し、児童生徒の発達段階や実態に応じて、全学年の児童生徒に対して交通安全の指導を行っております。

具体的には、小学校低学年では、横断歩道の渡り方や飛び出しの危険性などについて学び、交通ルールを理解や安全な行動の習得に重点を置いております。中学年になると、見通しの悪い曲がり角や交差点での車両の急な出現、停車中の車両の急発進など、場面ごとに潜む危険を予測しながら、安全な歩行の仕方を学んでおります。

さらに、小学校高学年および中学生には、自転車走行時の見通しの悪い交差点や一時停止、信号のある交差点での安全な横断方法などについて学習し、自分の自転車の乗り方を見直す機会を設けております。

こうした学習をとおして、例えば、小学校1年生では、左右をしっかりと確認し、周囲に注意を払いながら横断する姿が見られるなど、安全意識の高まりがうかがえます。

また、他の学年におきましても、危険を予測することの大切さや「事故は誰にでも起こりうる」という認識が深まり、日頃の自転車の乗り方を振り返りながらより丁寧に左右確認しようとする姿勢が育っております。

中学生におきましては、自転車通学に慣れてきた1年生が交通ルールやマナーを再確認することで、安全意識のさらなる定着が図られております。あわせて、上学年においては、「被害者にも加害者にもならない」という意識や、「注意されるからではなく自分の命を守るために交通ルールをしっかりと守る」という自覚が高まっているところです。

今後におきましても、警察署をはじめとする関係機関と連携をしながら、交通安全教育の一層の充実に努めるとともに、児童生徒が安心して生活できる環境づくりに引きつづき、取り組んでまいります。

個人-03(総括方式)	上田 佐和 議員	教育部長	保健給食課
大項目	1 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について		
中項目	(1) 対象範囲と制度の考え方について		
小項目	—		

それでは、学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について、6点ご質問いただいておりますので、お答えいたします。

まず、1点目の対象範囲と制度の考え方について、今回の国の制度は、保護者負担となっている小学校給食に係る食材費の負担軽減を行うことで、子育て支援に取り組む自治体への支援として実施されるものです。

児童一人あたり月額5,200円を基準額とし、基準額を超える部分については、学校給食法に基づき、引き続き、保護者から徴収可能とされています。

本市におきましては、この制度に基づき小学校給食費の負担軽減を図り、超過分については、国の物価高騰対応交付金を活用することで、来年度は保護者負担を求めず、実質無償とする予定です。

ただし、中学校給食費は本制度の対象外であるため、来年度についても国の物価高騰対応交付金を活用することで、今年度同様、改定前の月額4,900円に据え置き、保護者負担の軽減に努めてまいります。

個人-03(総括方式)	上田 佐和 議員	教育部長	保健給食課
大項目	1 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について		
中項目	(2) 物価高騰と給食費改定の考え方について		
小項目	—		

次に、2点目の物価高騰と給食費改定の考え方について、昨今の物価高騰の影響を受け、令和4年度以降、国の交付金の活用により給食を提供してまいりましたが、既存の学校給食費では質や量、栄養バランスを確保することは困難との判断から、今年度より学校給食費を改定いたしました。

その際には、過去 10 年間の消費者物価指数の年平均上昇率+2.3%を、今後の 3 年間で 7%上昇することを見込んでおりました。

しかしながら、実際に物価全体が当初の想定以上に上昇しており、特に、お米については、昨年 11 月にキログラム単価 1.6 倍、生鮮物資は年度始めに比べ約 2 倍となっており、食材費全体で約 20%の物価上昇となっている現状です。

今日まで国の物価高騰対策交付金の活用により、保護者負担を改定前単価に「据え置き」としておりますが、国の財政支援がなくなった場合でも、安定的に給食を実施できるよう、現状に見合った給食費を設定しておく必要があるため、来年度以降に協議を進めてまいります。

個人-03(総括方式)	上田 佐和 議員	教育部長	保健給食課
大項目	1 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について		
中項目	(3) 給食停止児童生徒への対応について		
小項目	—		

次に、3 点目の給食停止児童生徒への対応について、食物アレルギーや不登校など、様々な事情により学校給食を停止し、弁当対応等となっている児童生徒につきましては、現在も給食費の徴収は行っておりません。

今回の国の制度は、学校給食に係る食材費を支援するものであり、給食を提供していない児童生徒に対して新たな手続きや負担が生じるものではございません。

本制度開始後におきましても、給食停止児童生徒に係る事務の取扱いにつきましては、これまでと同様に対応してまいります。

個人-03(総括方式)	上田 佐和 議員	教育部長	保健給食課
大項目	1 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について		
中項目	(4) 他自治体事例を踏まえた対応について		
小項目	—		

次に、4 点目の他自治体事例を踏まえた対応について、他自治体においては、給食を

利用しない世帯に対し給付金を支給している事例があることは承知していますが、各自治体の子育て支援の状況を総合的に考慮する中で実施されているものと認識しています。

本市におきましては、弁当持参の主な理由と考えられる食物アレルギー児童に対して、きめ細やかな対応が可能となる自校方式のよさを活かし、法令で規定する特定原材料等28品目の食品の除去食の提供を基本とし、安全性を最優先しながら、できる限り給食を食べてもらえるよう努めています。

しかしながら、除去食も困難な場合については、やむを得ず、弁当対応としており、本制度開始後につきましても、これまでどおり、各家庭で負担をお願いしたいと考えております。

個人-03(総括方式)	上田 佐和 議員	教育部長	保健給食課
大項目	1 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について		
中項目	(5) 就学援助制度との関係について		
小項目	—		

次に、5点目の就学援助制度との関係について、本制度においては、公立小学校の全児童の学校給食費が対象であり、生活保護の教育扶助を受けている場合は、法律に基づく支援が優先され対象外となりますが、就学援助制度により支援を受けている場合は、対象となります。

今後、本制度の円滑な開始に向けて、庁内関係課と連携し、制度間の重複とならないよう整理するとともに、保護者のみなさまに対して丁寧に周知を図ってまいります。

個人-03(総括方式)	上田 佐和 議員	教育部長	保健給食課
大項目	1 学校給食費の抜本的負担軽減施策の制度設計と持続性について		
中項目	(6) 制度持続性と給食の質について		
小項目	—		

最後に、6点目の制度持続性と給食の質について、本市の学校給食は、各学校で調理を行う「自校方式」を採用することで、作りたての温かく美味しい給食を提供できると

ともに、アレルギー対応や食育面でも、きめ細やかで質の高い給食を実現しています。

一方で、自校方式はセンター方式と比べて、維持管理や食材調達においてもコストがかかっており、実際の食材費は、国が示す基準額、月額 5,200 円を上回っているのが実情です。

繰り返しになりますが、今回の国の制度等を活用することで、来年度においては、小学校給食費の保護者負担は求めず、実質無償とする予定です。

また、昨今の物価高騰において、給食の質を確保できるよう、献立や調理方法についても、栄養教諭や給食室には多大な創意工夫をいただいておりますが、今後も、財源確保はもちろん、物価高騰に合わせた適正な食材選定およびアイデアの創出など、関係者でより一層連携してまいります。

将来的な財政負担については、引き続き、保護者負担の軽減に努めてまいります。今後、国の財政支援がなくなった場合には、保護者負担を求めていくことが必要になると考えています。

こうした状況を踏まえ、来年度、給食費の適正な価格について議論させていただき、令和 9 年度改定に向けて準備を進めていく予定です。

今後も引き続き、質や量・栄養バランスを確保し、安全安心な、おいしく温かい自校方式での学校給食の提供に取り組んでまいります。

個人－9（一問一答）	守政会 筈井 昌彦 議員	市長	学校教育課
大項目	1 公立中学校の部活動の地域展開（地域移行）		
中項目	(1) 中学校部活動の地域展開・地域連携と地域スポーツ・文化芸術環境の整備についての現状と今後の取組方針について		
小項目	－		

お答えします。

本市の中学校部活動につきましては、これまで各学校の特色を生かしながら活発に活動が行われており、学年を超えた生徒同士の活動を通して、自主性や社会性、豊かな人間性を育みながら、各種大会やコンクール等においても着実に成果を上げてきております。

こうした中、本市においては、柔道や弓道、吹奏楽等で、部活動の地域展開に向けた先行事例となる取組が進められています。これらの活動においては、地域の指導者や関係団体の協力を得ながら取組が進められており、中学生のスポーツや文化活動を地域で支える土台が一定程度築かれているものと認識しております。

部活動の地域連携や地域展開につきましては、国や県の動向には注視しながらも、地域全体でしっかりと子どもを支え育てる視点を持ち、本市の実情に即した取組を着実に進めていくことが重要であると考えております。

今後については、各学校や種目・分野のさまざまな状況に応じて、休日の部活動の地域連携や地域展開を進めることとし、令和8年度には市内4中学校において、それぞれ1つの部活動に部活動指導員を配置し、休日モデル事業を実施する予定としております。

その際には、部活動改革コーディネーターを任用し、地域人材の発掘、関係団体や学校との連携調整を担わせることで、持続可能な部活動の仕組みづくりを進めてまいります。

子どもたちの興味や関心に応じた活動機会を確保するために、学校だけでなく地域全体で体制づくりをすすめ、子どもたちが将来にわたってスポーツや文化芸術活動に親しめるよう、教育委員会とともに取り組んでまいります。

個人-9 (一問一答)	守政会 筈井 昌彦 議員	教育長	学校教育課
大項目	1 公立中学校の部活動の地域展開 (地域移行)		
中項目	(2) 部活動の地域展開における課題、対応について現段階での市の考えを伺う		
小項目	-		

### 【部活動の地域展開における諸課題への対応について現段階での市の考えを伺う】

続いて2点目のご質問にお答えします。

1点目の「地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備等」について、現時点におきましては、地域クラブ活動を担う運営団体および実施主体は確定しておりませんが、今後、守山市スポーツ協会や守山市文化体育振興事業団などをはじめとする関係団体と連携しながら、体制整備を進めてまいります。

2点目の「指導者等の質の保証・量の確保」について、まず、部活動は子どもの興味や関心に応じて行うものであり、技術の向上は勿論のこと、人格形成においても意義の大きい活動であるため、学校現場や関係団体と議論を重ね、しっかりと取り組んでいく必要があると考えております。令和8年度からは、部活動改革コーディネーターを任用し、部活動指導員に対して、中学校部活動の意義や生徒との関わり方等に関する研修を実施する予定です。また、当該コーディネーターが関係団体と連携することで、地域指導者の発掘にも努めてまいります。

3点目の「活動場所の確保」について、現在、学校施設を中心として、市の関係施設を適宜利用しているところです。今後、将来的な地域展開を進める中においても、それぞれの活動場所が確保できるよう、現在と同様に、きめ細やかに調整をしていく予定です。

4点目の「活動場所への移動手段の確保」について、基本的には、生徒が自転車で移動できる範囲で活動を行えるよう、調整、工夫してまいります。

5点目の「大会やコンクール運営の在り方」について、現在は、中学校体育連盟や各種団体等が大会やコンクール等を運営しています。今後、地域展開が進むことで、大会の参加要件等の変更が生じてくると考えられますが、地域展開後も、生徒が引き続き各

種大会に参加できるよう、市として県の主催団体等への要望や情報共有を適宜行いながら対応してまいります。

6点目の「生徒・保護者等の関係者の理解促進」について、今後、学校での部活動において、地域連携や将来的な地域展開を進めていく中で、生徒・保護者が混乱しないよう、活動方針や活動内容について適宜周知していくよう努めてまいります。あわせて、子どもたちが安心して部活動に取り組めるよう、指導者となる部活動指導員や教員との間で、指導方針について日常的な情報共有を徹底します。また、今回のモデル事業の実施にあたっては、各校の部活動保護者会に部活動指導員も参加することにより、保護者への理解促進を図ってまいります。

7点目の「生徒の安全確保のための体制整備」について、今後、国・県より関係するガイドラインが示されていくものと思われますので、当該ガイドラインに準じて体制整備を進めてまいります。体制整備については、例えば、指導者の安全意識についての研修や、安全管理マニュアルの策定、スポーツ安全保険への加入、休養日の設定等を見込んでおります。

8点目の「障害のある生徒の活動機会の確保」について、現行の学校部活動においても、障害のあるなしに関わらず希望する生徒の活動機会が確保されておりますように、今後、地域展開を進める中で、障害のある生徒の活動の参加において、合理的な配慮が必要な場合には、その都度関係者と協議し、個々の事情に配慮し適切に対応してまいります。

以上、答弁といたします。

個人 11 (分割)	二上 勝友 議員	教育長	教育総務課
大項目	2 守山南中学校の生徒数について		
中項目	(1) 守山南中学校の現状について		
小項目	—		

次に、2項目目「守山南中学校の生徒数」についての1点目「現状」について、

守山南中学校の生徒数は令和5年度にピークを迎え、令和6年度は対前年度比36人減、令和7年度は対前年度比48人減と減少が続いており、今後も減少傾向が続いていくものと予測しています。また、守山南中学校区内の児童のうち、私立・県立中学校や、養護学校等へ進学する児童は、毎年、全体の約1割となっており、議員お示しの小学校区内の児童についても、同程度数減少した児童が入学してくるものと見込んでいます。

大規模校における学校運営においては、組織機能を高めるため、複数配置される教頭や学年主任、学年副主任などが緊密に連携を行い、校務分掌を機能させることが重要であると認識しています。こうした点に留意し、学校運営を進めることにより、大規模校での特色ある教育が実現できると考えています。

守山南中学校については、大規模校加配教員として非常勤の教員を市独自に配置し、教職員の授業時数を軽減することにより、学年のみならず生徒指導や特別支援教育などの観点から関係する会議をこまめに開催するなどして、情報共有の機会の充実に取り組んでいます。

また、全校生徒が参加する学校行事等については、学校において行事の実施方法等、工夫して取り組んでいるところであり、教育委員会としても指導、助言してまいります。

個人 11 (分割)	二上 勝友 議員	教育長	教育総務課
大項目	2 守山南中学校の生徒数について		
中項目	(2) 中学校の新設について		
小項目	—		

次に、2点目「中学校の新設」については、これまで、学校規模適正化検討会を平成27年7月に設置し、平成28年12月議会で分離・新設は困難であるとの考え方を説明したのち、市議会でも十分ご議論をいただく中、平成29年3月議会にて分離・新設はしな

いとの結論を出し、守山南中学校においては、円滑な学校運営のため、令和2年度に校舎の増改築等を行いました。

今後の生徒数は、減少傾向が続く見込みであることから、分離・新設の再検討は考えていません。

個人11（分割）	二上 勝友 議員	教育長	教育総務課
大項目	2 守山南中学校の生徒数について		
中項目	(3) 学区割の見直しについて		
小項目	—		

次に、3点目「学区割の見直し」については、先に申し上げた学校規模適正化検討会において、学校区の変更についての検討も行われましたが、地域のまちづくり、自治会活動、子ども会活動、児童の登下校の安全確保等において、影響が大きすぎるとの意見が多数寄せられたことから、実施は大変困難であると判断したところです。現在は校区内の生徒数が減少傾向であることから、学区割の見直しの検討は考えていません。

さらに、生徒数をコントロールすることを目的とした学校選択制については、その導入により、守山南中学校の生徒数が増加する可能性も考えられることから、実施は考えていません。

守人政第212号  
令和8年3月19日

守山市教育長 様

守山市長 森 中 高 史

守山市男女共同参画審議会委員の推薦について（依頼）

春陽の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、市政運営に、格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、男女共同参画の推進に関し必要な事項を調査およびご審議いただくため、「守山市男女共同参画審議会」を設置しております。

つきましては、ご多用のことと存じますが、貴機関より当審議会の委員としてご参画いただける方のご推薦をお願い申し上げます。

記

1 推薦委員数 1名

※市政への女性の参画を推進するため、可能なかぎり女性委員のご推薦についてご配慮をお願いいたします。

2 職務内容等

- (1) 会議等へ年間2回程度のご出席を依頼します。
- (2) 委員の任期は委嘱日から2年以内です。

3 提出書類 別紙のとおり

- (1) 推薦書
- (2) 承諾書兼同意書

4月10日（金）までに人権政策課へご提出をお願いいたします。

4 設置規則 別紙のとおり

守山市総合政策部人権政策課 貝増  
〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号  
Tel 582-1116(直) Fax 582-0539  
E-Mail jinkenseisaku@city.moriyama.lg.jp

寄付採納一覧について

令和8年3月26日現在

NO	月	寄付者	寄付物件	数量	評価額	合計評価額	寄付先	※ 1	※ 2	※ 3
1	1月	吉身学区子ども会連合会	ワイヤレスアンプCD付	1台	150,000円	150,000円	吉身小学校			
2	1月	吉身学区子ども会連合会	会議テーブル	8台	153,120円	153,120円	立入が丘 小学校			
3	1月	公益財団法人 河本文教福祉振興会	学校図書	384部	1,788,039円	1,788,039円	全小中学校		○	
4	3月	小津学区子ども会連合会	テント	1張	140,890円	140,890円	小津小学校			
5	3月	株式会社 滋賀銀行	木製長椅子	8台	200,000円	200,000円	速野小学校			
6	3月	守山市立守山中学校 令和7年度 卒業生保護者	ターポリンフロアシート アクリルボードカッティン グシート	9本 1枚	567,500円	567,500円	守山中学校			
7	3月	三王不動産グループ	バスケットボール	50球	550,000円	550,000円	全小学校			
8	3月	株式会社瑛心	バスケットボール	24球	528,000円	528,000円	全中学校			
9	3月	有限会社富綜	冷感タオル	1,700枚	500,000円	500,000円	全小学校			

○守山市表彰条例（※1）

第5条 社会功労	(6) 公益のため金品の寄付をした者 一般寄付、ふるさと応援寄付を問わず、 市に対する寄付であれば該当	個人100万円以上 団体200万円以上 (教育後援会からの寄付を除く)
-------------	---	---

○守山市自治振興表彰内規（教育委員会）（※2）

第2条	(7) 公益のため金品を寄付した者	個人50万円以上、団体100万円以上 ※ただし、団体については、3年を限度に通算可。
-----	-------------------	---

○紺綬褒章等の授与基準について（※3）

褒章条例第1条の規定により紺綬褒章を授与する場合の授与基準	寄付金額 500万円以上
-------------------------------	--------------

教育委員会関係行事等について

行事名	担当課
「アートがつなぐ展覧会 Moriyama 若手芸術家の作品展」開催結果について	社会教育・文化振興課
第42回野洲川健康ファミリーマラソン大会の開催報告について	スポーツ振興課

## 「アートがつなぐ展覧会 Moriyama 若手芸術家の作品展」開催結果について

社会教育・文化振興課

**1 趣 旨** 守山市に縁のある16歳から50歳までの若手芸術家の、作品の発表・披露および展示機会を創出することを目的として、作品の審査や賞を設けず、プロ・アマを問わず出品できる本展を通じて、市民と若手芸術家を「つなぐ」とともに、その活動を未来へとつないでいくことを目指します。

**2 会 期** 令和8年2月14日（土）から2月20日（金）まで

**3 会 場** 守山市民ホール展示室

**4 出品状況** 43点

	作家名・グループ名	メンバー	属性	年齢	部門	出品数
1	石田 幸聖		■	■	写真	1
2	市川 美津子		■	■	平面	2
3	井上 純一		■	■	写真	2
4	うえはらあすか		■	■	平面	3
5	打原 有華		■	■	平面	4
6	河合 薫		■	■	立体	1
7	草野 舞桜		■	■	平面	1
8	光風書道教室	田辺哲也・立江智子 安田麻衣・高谷友希	■	■	書	4
9	善野 果林		■	■	平面	3
10	タカムラ カズミ		■	■	平面	9
11	日野 盾嗣		■	■	写真	5
12	守山市ペットに 優しいまちづくり	わんにゃんハッピーフォト 山脇 梨紗	■	■	写真 立体	2
13	山口 ひかり	山口 ひかり 君島 由良	■	■	平面	3
14	山口 ひかり		■	■	平面	1
15	山下 穂華		■	■	平面	1

**5 来場者数** 494名（R6：1,035人/守山市役所 多目的ホール）

## 6 広報活動

広報もりやま：12/1号作品募集告知、1/15会期告知、2/1会期会場変更告知

市ホームページ：作品募集告知、会期告知、会期会場変更告知

ポスター・チラシ配布：市内施設、セブンイレブン、高校、美術品店、県・近隣市

Instagram：募集開始の12/1から会期終了2/20までの投稿数58件

閲覧総数13,569回、新規フォロワー12名（フォロワー総数226名）

## 7 来場者アンケート

- ・ 独特なアプローチや面白い作品が多く見ていて楽しかったです。
- ・ 若い人の感性で作られたものが多く良かった。
- ・ 市内で催されている作品展なので親しみ感がありました。
- ・ 会場が変更された為か、小さいものが多かった。
- ・ パネル配置が通路のように配置され、狭く感じた。
- ・ 私は市役所での展示の方が良かったです。
- ・ 選挙の関係ですか？仕方ないのかもしれませんが日にちをずらして市役所で展示した方が良かったです。壁紙が古くて汚いのと雰囲気暗いのと奥まっているので通りがかった人が見に行く感じではない気がしました。せつかくの作品が市役所の展示と市民ホールの展示でだいぶ違っていて残念でした。

## 8 出品者アンケート

- ・ 選挙のため急遽会場の手配をしてくださり、ありがとうございました。やはりさまざまな方に見ていただくには、市役所での開催がありがたいです。
- ・ 展示場所が変更になったのは残念でしたが、良い設備の整った場所での開催ありがとうございました。
- ・ 今回は守山市民ホールでしたが、守山市役所のように多くの人に来る会場で展示ができるのはとても有り難いです。
- ・ 今回はイレギュラーな状況の中、スタッフの皆さん本当にありがとうございました。
- ・ メンションもつけて広報してくださり、嬉しかったです、ありがとうございます。
- ・ 今回は選挙があり仕方なかったと思いますが、前に市役所で開催されているのを見て応募しました。なので、市民ホールの変更ではなく、日にちをずらして市役所でしてほしいです。作品も作ってあったので、取り下げるのも…と思いそのまま出しました。
- ・ 広告デザインの仕事をしていたので、「アートがつなぐ展覧会」のチラシデザインが、年々クオリティがあがってきているなと感じました。
- ・ 搬入搬出の日時をご配慮くださり、仕事をしながらでも展示に参加できまして、深

く感謝しております、誠にありがとうございました。

## 9 その他

### 【衆議院選挙執行に伴う対応】

衆議院総選挙の執行に伴い、当初会場として予定していた守山市役所多目的ホールの使用が不可能となったため、急遽会期を変更し、守山市民ホール展示室にて開催いたしました。

会期の変更により2名の作家より出品辞退の申し出がありましたが、最終的に19名の作家により44点の作品が展示され、搬入出作業を含め大きな混乱なく運営を完了いたしました。

変更の周知については、広報もりやま、市ホームページ、Instagram等での告知に加え、ポスターやチラシに変更の旨を追記・掲示するなど、周知徹底を図りました。

来場実績については、他イベントと重なる土日は市民ホールの集客効果により増加した一方、平日の来場が伸び悩み、昨年度実績を大幅に下回る結果となりました。これは、急な会期会場変更に加え、市役所庁舎に比べて平日の日常的な来庁動線が少ない施設特性が影響したものと分析しております。

次年度の開催に向けては、「若手芸術家の作品を市民が気軽に触れられる機会」を最大化させるため、改めて守山市役所多目的ホールでの開催を軸とし、市長・市議会・県議員選挙の期間外での実施を目指し、事業運営を進めます。

### 【テレビ取材について】

びわ湖放送にて放送しています「守山ニュース」におきまして当展覧会の様子が、紹介されます。

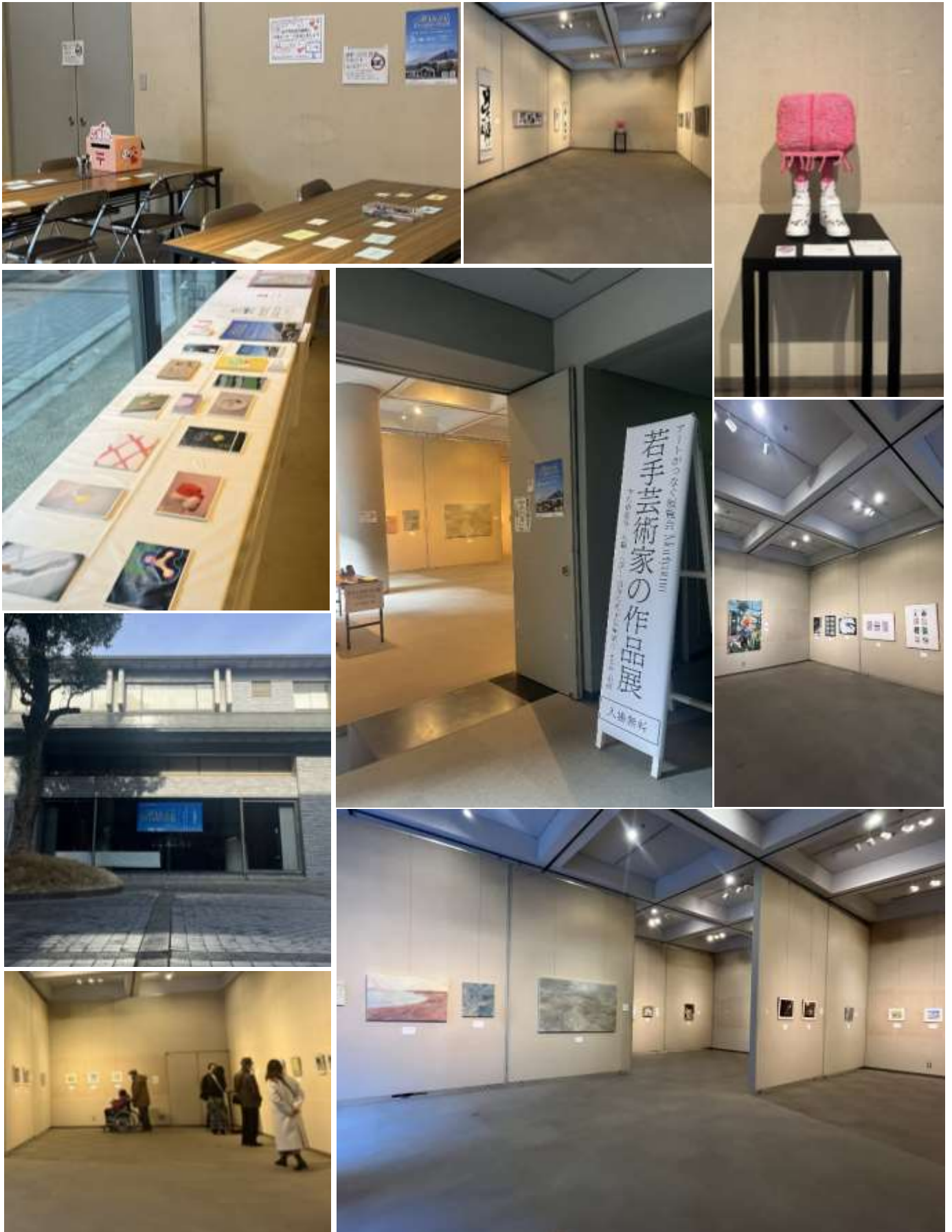
もりやま卑弥呼による展覧会の紹介とともに、出品者である山下 穂華様へのインタビューを放送予定です。

番組名：守山ニュース

放送局：びわ湖放送

放送日時：令和8年3月6日（金）・3月20日（金）午後6時20分～午後6時25分

10 会場写真



# ほたるのまち守山 第43回 野洲川健康ファミリーマラソン大会実施報告

【開催日時】 令和8年3月1日(日) 午前9時から正午まで

【天候】 晴れ

【開催場所】 野洲川歴史公園サッカー場

2km 763 人  
 合計 763 人

市内588人 市外173人 県外2人  
 幼児(3歳)から70歳代までの参加があった

## 開会式



## 2kmの部



## 軽食販売



## 抽選会



## お楽しみコーナー



## お魚ふれあいコーナー



## 走り方教室



# ほたるのまち守山 第43回 野洲川健康ファミリーマラソン大会参加状況一覧

## 1 年齢別参加者

(単位：人)

年 齢	種 目	2 km		前年比(人)	合 計
		第43回大会	第42回大会		
0歳	～ 6歳	101人	111人	-10	101人
7歳	～ 12歳	293人	238人	+55	293人
13歳	～ 15歳	20人	13人	+7	20人
16歳	～ 19歳	0人	0人	+0	0人
20歳	～ 29歳	6人	9人	-3	6人
30歳	～ 39歳	102人	113人	-11	102人
40歳	～ 49歳	167人	161人	+6	167人
50歳	～ 59歳	29人	24人	+5	29人
60歳	～ 69歳	10人	6人	+4	10人
70歳	～	3人	6人	-3	3人
不明	(書き忘れ)	32人	22人	+10	32人
合 計		763人	703人	+60	763人
<第41回実績>		【2kmの部】813人	【5kmの部】42人	【合計】855人	
<第40回実績>		【2kmの部】679人	【5kmの部】38人	【合計】717人	
<第39回実績>		【2kmの部】のみ実施	560人		

※事前申込制で2kmの部先着1,000名の募集とした。

## 2 市内・市外・県外別の内訳

(単位：人)

参考(過去の市内・市外状況)

市内・市外・県外の別	参加者人数			
	第43回大会		第42回大会	
市内	588	77%	453	64%
市外	173	23%	245	35%
県外	2	0%	5	1%
(内訳)				
大阪府				
京都府	2		4	
三重県				
和歌山県			1	
海 外				
不 明				
合 計	763	100%	703	100%

	参加人数	市内	市外
第41回大会	855人(100%)	647人(76%)	208人(24%)
第40回大会	717人(100%)	582人(81%)	135人(19%)
第39回大会	560人(100%)	453人(81%)	107人(19%)
第38回大会	490人(100%)	372人(76%)	118人(24%)
第37回大会	新型コロナウイルスの影響により中止		
第36回大会	931人(100%)	497人(55%)	388人(42%)
第35回大会	999人(100%)	536人(54%)	445人(46%)
第34回大会	885人(100%)	462人(52%)	404人(48%)
第33回大会	895人(100%)	478人(53%)	417人(47%)
第32回大会	937人(100%)	482人(51%)	428人(46%)
第31回大会	905人(100%)	587人(65%)	318人(35%)
第30回大会	866人(100%)	534人(62%)	332人(38%)
第29回大会	712人(100%)	499人(62%)	305人(38%)
第28回大会	697人(100%)	421人(61%)	276人(39%)
第27回大会	411人(100%)	242人(59%)	169人(41%)
第26回大会	712人(100%)	442人(62%)	270人(38%)
第25回大会	535人(100%)	332人(62%)	203人(38%)

## 3 大会の特徴

大 会	参加者数	大会の主な特徴	天候他
第24回 (H18年度)	314人	ファミリーでの参加が多かった。	<曇・寒>
第25回 (H19年度)	535人	マラソン開催中サッカー場Aコートを開放し、ふれあいの場を設定した。	<快晴・暖>
第26回 (H20年度)	712人	ファミリーでの参加が多く、親子や友達との参加が多かった。7kmコースの一部を高水敷きコースとして実施した。	<晴・暖>
第27回 (H21年度)	411人	5・7kmコースを高水敷きコースとしたが、水溜りがあったため、来年度はコースの変更を考えたい。	<雨・寒>
第28回 (H22年度)	697人	今年度もコース変更した。7kmコースを高水敷きコースとしたが、水溜りがあったため、コース整備が必要。	<晴・暖>
第29回 (H23年度)	804人	東日本大震災1周年のため、開会式に黙祷を捧げた。800人を超える過去最高の参加者数となった。	<晴・暖>
第30回 (H24年度)	866人	30周年大会として、大会チラシに野洲川の歴史を掲載した。やや厳しい季節ではあったが、前年度の過去最高参加者数を更新した。	<曇のち雨・寒>
第31回 (H25年度)	905人	天候に恵まれ、3年連続で過去最高の参加者数を更新した。「恋するウォーキング」をテーマにしたウォーキングアップで盛り上がった。	<晴・暖>
第32回 (H26年度)	937人	前日雨、当日朝晴れ。最高参加者数更新。定員制導入、7kmと2kmの部門で定員締切。3km、5km廃止し10分の1マラソンを新設、服部大橋を渡る新コース採用	<晴・暖>
第33回 (H27年度)	895人	チラシ全戸配付を止め、広報と学校全児童数配付に。2kmと2kmFの部で定員締切。日体大女子駅伝選手招待、陸上教室(小中学生対象)実施。もーり初参加で会場を盛り上げた。	<曇・暖>
第34回 (H28年度)	885人	7kmコースの一部を中洲親水公園を通る高水敷きコースとして実施した。琵琶湖河川事務所やユニスポもりやまのブースが初参加。Bコートの人工芝は張り替えただけだった。	<晴・暖>
第35回 (H29年度)	999人	昨年同様のコース・出店等で実施。当日は非常に暖かい気温(20℃前後)中で開催。参加人数の記録を更新。	<晴・暖>
第36回 (H30年度)	931人	2kmを1つの部門に統一。3kmコースが復活。雨の予報のため開催が危ぶまれたが決行、ゴール後から小雨に。日体大のゲストランナーによる陸上教室も開催。	<曇のち雨・寒>
第37回 (R1年度)		新型コロナウイルスの影響により中止	
第38回 (R2年度)	490人	参加人数を制限するため、事前申込制(先着600名程度)で2kmの部のみで開催。2kmの部だけなので、ファミリーでの参加が多かった。SGH文化スポーツ振興財団による陸上教室も開催。	<晴・暖>
第39回 (R3年度)	560人	昨年に引き続き感染症対策のため2kmの部門のみで開催。SGH文化スポーツ振興財団の陸上教室では、本市環境政策課とコラボし、野洲川について学ぶウォーキング教室も開催。	<曇のち晴・寒>
第40回 (R4年度)	717人	2kmの部に加えて5kmの部を野洲川中洲親水公園で開催。4年ぶりの飲食ブースが盛況。ゲストランナーにしがスポーツ大使の我孫子智美氏を招聘。走り方教室、ランニング教室。	<晴・暖>
第41回 (R5年度)	855人	走り方教室のほか、ビッグレイクAコートの人工芝改修記念イベントとして、サッカー元日本代表の加地亮氏、小林大悟氏を招いたサッカー教室を同時開催。お楽しみコーナーを巡るスタンプラリーを実施。	<快晴・寒>
第42回 (R6年度)	703人	当日の天気が芳しくなく、当日キャンセルが相次いだ。走り方教室のほか、Cコートではスポーツ体験、田空公園では展示や野洲川のお魚ふれあいコーナーを出展し、スタンプラリーを実施した。	<曇り時々雨・暖>
第43回 (R7年度)	763人	走り方教室のほか、Cコートではスポーツ体験、田空公園では展示や野洲川のお魚ふれあいコーナーを出展し、スタンプラリーを実施した。	<晴・暖>

## 教育委員会の日程等について

### 1 教育委員会関係の今後の行事

月	日	曜	開会時間	場 所	行 事 名	備考
4	9	木	午前	市内小学校	令和8年度市内小学校入学式	出席 依頼
4	9	木	午後	市内中学校	令和8年度市内中学校入学式	出席 依頼
4	14	火	14:00	滋賀県庁 オンライン	令和8年度滋賀県教育行政重点 施策説明会	出席 依頼
5	17	日	10:00	市内各会場	第15回ルシオール アート キッズフェスティバル	開催 案内
5	21	木	14:30	クサツ エストピアホテル	令和8年度滋賀県都市教育委員 会連絡協議会 定期総会	出席 依頼
5	31	日	9:00	野洲川左岸 新庄大橋上流	第45回野洲川冒険大会 いかだくんだり開会式	開催 案内

### 2 次回の教育委員会開催日程等

#### 【令和8年第4回守山市教育委員会定例会（4月）】

- 開催日            **4月28日（火）**
- 開催時間        **午後1時30分から**
- 場 所            **守山市役所2階 防災会議室**

#### 【令和8年第5回守山市教育委員会定例会（5月）】

- 開催日            **5月28日（木）**
- 開催時間        **午後1時30分から**
- 場 所            **守山市役所2階 防災会議室**

#### 【令和8年第6回守山市教育委員会定例会（6月）】

- 開催日            **6月25日（木）**
- 開催時間        **午後1時30分から**
- 場 所            **守山市役所2階 防災会議室**

### 3 その他